

これからの地方創生・関係人口を考える

<科研費：基盤研究(C) 20K12412>

(「関係人口」創出を目指す「関係案内人」の役割や創出評価の枠組形成に関する実証研究)

～研究成果報告会～

「都市の一極集中」「地方の過疎化」が言われて久しい。これらは、ずいぶん前から問題視されていたものの、どれだけの方が「自分事」として課題を共有していただろうか。様々なアプローチによる本研究から、これまで注目が当たってきた「一極集中と過疎化」は、表裏一体であり、都市と地方という関係でまちづくりを考えるのはナンセンスである。また、まちづくりを支えるのは、結局のところ、「人」である。

本研究では、とくに人と人とのつながりに着目し、地方創生における関係人口の意義や関係案内人の役割に焦点化、その具体的取り組みを考え、シティプロモーション実践や地域においてシビックプライドをどのように獲得しているのか、持続可能な観光や交流人口・関係人口の創出とまちづくりの関係性について、理論と具体的な取り組みについて考える示唆を示すために行われてきた。本報告会では、これまでの研究成果として、どんな視点でどのようにつながるのか、多方面による研究／実践者によるリレートークを通して、これからの持続可能な地域づくりのあり方考える。

日時：2024年3月20日(水)

13:30～17:30 研究成果報告会

登壇者：

岩本泰(東海大学教養学部人間環境学科・研究代表者／コーディネーター)

二ノ宮リムさち(東海大学 SAC)

室田憲一(東海大学教養学部人間環境学科)

佐々木豊志(青森大学総合経営学部)(オンライン)

鈴木修斗(東海大学教養学部人間環境学科)

北野忠(東海大学教養学部人間環境学科)

稲垣貢哉(一般社団 M.S.I.)

本山博幸(松田町町長)

重野寿利(松田町定住少子化担当室)・青山由里(同観光経済課)



主催：東海大学教養学部

協力：神奈川県松田町(令和元年度「関係人口創出・拡大事業」モデル事業 採択団体)

会場：松田町役場

申し込み：事前申し込み制(右のQRコード、または以下リンクから申し込みください)

<https://forms.gle/UKuRQ3JKGLvpSMRT9>

お問い合わせ先：

東海大学教養学部人間環境学科

研究代表：岩本 泰 0463-63-4539 / tokai_ee@yahoo.co.jp



参考情報

(本研究の研究成果に関する書籍『これからの地方創生・関係人口ー関係人口から持続可能な地域の創り手へ』人言洞 2024.3.1 発刊)